

## 2024年度 事業実施報告

一般社団法人 日本中小型造船工業会

当会は、日本財団の助成を受けて以下の事業を実施しました。

### 1. 進水式・工場見学会・出前講座

次世代を担う子ども達に海事産業を通して、ものづくりの素晴らしさを知ってもらうため、2005年から進水式見学会や造船所の工場見学会を行っています。

今年度は、小中学校だけではなく高校でも実施しました。地方運輸局、地方自治体、商工会議所、教育委員会、海事関係団体等と連携して進水式・造船所見学会・出前講座等を延べ76回開催し、95校、3,970名にご参加いただきました。



### 2. 海事産業ものづくり体験講座の実施

2010年からは、小・中学校の総合学習等の時間を10~20コマ活用して、海事産業のキャリア教育を行っています。

#### 講座の趣旨

- ・講座や造船所見学を通じ、ものづくりの楽しさや魅力を伝える
- ・基幹産業である造船について知り、地場産業への理解を深める
- ・海事産業従事者の話を直接聴き、将来の進路選択について考える機会を与える
- ・海事関係団体等、工業高校、地方自治体と連携し、造船業や地域で活躍する人材を育成する

#### 令和6年度実施状況（8校 / 528名）※印は講座内において工業高校見学を実施

尾道市立向島中学校	1年生	107名
呉市立仁方中学校	1年生	39名
呉市立郷原中学校	1年生	40名
※下関市立長成中学校	1年生	83名
宇和島市立城北中学校	2年生	99名
須崎市立須崎中学校	2年生	40名
広島大学付属三原小学校	5年生	66名
※須崎市立多ノ郷小学校	5年生	54名

## 海事産業ものづくり体験講座を受講した生徒、児童からの感想

- ・船は二酸化炭素の排出量も少なく、一度にたくさんの荷物を運べることがわかりました。
- ・船がすごく暮らしに関係していることがわかりました。日本はたくさん外国から輸入しないといけないので、船に支えられていることがわかりました。
- ・風を利用した船や新しい燃料の船の開発が行われていることを知りました。
- ・講座前は船のことに正直興味なかったけど、自分の生活に関係しているものが多かったり、見たことある船がいくつかあったりして楽しかったです。
- ・船はたくさん工夫やアイデアが詰まっていて、とても魅力的だなと思いました。
- ・「百聞は一見に如かず」ではないが、実際に見ると、船の大きさがよくわかりました。
- ・普段上れない進水式の台に上がらせてもらい、とても嬉しかったです。
- ・実際に近くで船を見て説明をしてもらうと、わからなかったことや船の造り方などをもっと理解することができました。
- ・船を造るために多くの人や会社が協力していて、造船はとてもかっこいい仕事だなと思いました。
- ・実物を見て思ったことは、やはり迫力がすごかったです。このことを通じて船に興味を持ちました。
- ・見学をして、もっと船のことを調べて知りたいと思いました。
- ・自分の将来の選択肢がいっぱい増えて楽しかったです。
- ・紙で実際につくってみて、1mmずれたら大変だったので、本当の船を造る時は慎重にしなくてはいけないと思いました。
- ・船をつくることでチームワークと役割分担がとても大切だとわかりました。

